

KARADADA

知って安心

人体・病気・検査のしくみ

KOCHI PREFECTURAL LIBRARY
2009. 8

このリストは、当館に現在所蔵する本をご紹介しますもので、特定の治療や薬の使用を推奨するものではありません。医療関係の情報は高い頻度で変わっていきますのでご注意ください。症状や治療の判断等につきましては、医療機関にご相談ください。

高知県立図書館
健康応援キャラクター
“トメイト”



りこピン

歩いて走って、ご飯を食べて、息をして……。毎日様々に活躍している、あなたの「からだ」。
ところが、「肝臓と胃はどんな位置関係なの?」「骨は全部で何本あるの?」「脾臓は何をするところ?」など、
あらためて聞かれると、すぐに答えられないことも、意外と多いのではないのでしょうか。

精緻で調和のとれた私たちのからだは、小宇宙に例えられることもあります。
からだという小宇宙のどこに何があり、どんな働きをしているのか?
調和が乱れると、どうなってしまうのか?
複雑なからだの情報をつかみ、異変を発見するには、どのような検査があるのか?



日頃の健康維持のために、また、お医者さんの話をより良く理解するために、
「からだ」をもっと深く知ってみませんか?
今回は、体のしくみ(解剖生理学)、病気のしくみ(病理学)、検査のしくみを、
できるだけ分かりやすく理解するための本を集めました。

★解説部分★(※作成に使用した参考資料は6ページに記載しています)

- ・知っていますか?からだのあれこれ.....2
- ・「なんだかおかしい...これって病気?」~病気のメカニズム~.....3
- ・もっと生かそう!その検査 ~検査の種類と結果の見方~4
- ・インターネットで調べる.....5-6

★ブックリスト部分★(全83冊)

- ・その1 大きなイラストや写真でからだを見る(10冊)....6-9
- ・その2 からだの名前やしぐみを学ぶ(11冊).....10-13
- ・その3 からだを“読む”(27冊).....14-20
- ・その4 これって病気?病気のメカニズム(14冊)....21-23
- ・その5 検査の目的や結果の見方を知る(21冊)....24-30

●リストの見方

※本の特徴や特記事項をまとめました。

その3 体を“読む”

書名	著者/当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴/概要
1 にんげん百物語 誰も知らない からだの不思議	福井 栄一/著 上方文化評論家	技報堂出版	2007	491	一般	*「頭」から「足指」まで、全100語を収録。1語は見開き完結。 *「頭」「額」など、大きな項目ごとに、語源やその部位の病気を治すといわれる民間療法、その部位にご利益のある寺社などがまとめられている。 *巻末に「主要参考文献一覧」あり 万人が常に大きな関心を寄せる「からだ」は、今も昔も物語の宝庫。頭が大きい人はかしこいか、舌と脳、纏足という悲劇など、「からだ」をキーワードにした100物語を、「頭」から「足指」までの項目ごとに展開。

※著者の当時の所属

※その本の内容が、主に対象とされていると考えられる方

※日販MARCの内容データ部分を転載。それ以外の場合は、本から直接内容について引用し、引用個所を()で示しました。



知っていますか？ からだのあれこれ

とても複雑で、精巧にできている私たちのからだ。
何がどこにあり、どれくらいの大きさなのか？ どのように関係しあっているのか？
からだの全貌を知っておくと、いざという時、お医者さんの話も理解しやすくなるかもしれません。

循環器系

心臓が血液を全身に回すのに平均約1分。
身長・体重により違いますが
1日で約8000ℓもの血液をくみ出します。
体外に切り出しても規則正しく動き続けます。

脳・神経系

脳の重さは成人男性で約1350g、
女性で約1250g。
女性の方が左右の脳をつなぐ
脳梁の膨大部が太くなっています。

呼吸器系

肺全体に
数億個あるガス交換装置「肺胞」。
肺胞を全て広げると、70~80㎡です。
(およそバトミントンコート1面分)

感覚器系

味を感じる味蕾は
口の中全体に数千個。
味細胞の寿命はわずか10日ほどしかなく、
新しく作られるのには
亜鉛が必要です。



消化器系

口から肛門まで、
消化管は全長約9m。
一般的な食物の通過時間は、
・食道: 30~60秒
・胃: 2~4時間
・十二指腸~小腸: 3~5時間
・大腸~直腸: 10時間~数日

泌尿器系

腎臓で一日に作られる
尿のもと(原尿)は
約180ℓ(ほぼドラム缶1本分)。
尿として排泄されるのは
その100分の1(約1.5ℓ)です。

内分泌器系

体内の環境(ホメオスタシス)を
調整するホルモン。
拮抗する働きのものが、
体内の環境の変化にあわせ、
絶妙な配分で分泌されます。

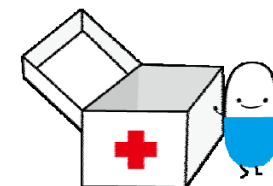
筋・骨格系

骨は全部で206個+ α 。
尾骨の数に個人差があります。





「なんだかおかしい…これって病気？」 ～病気のメカニズム～



からだの中の環境は、巧妙な仕組みで一定に保たれています。
ところが、何らかの原因でその仕組みを保つのが難しくなり、環境に乱れが生じてしまうことがあります。
「病気になったら、どこが、なぜ、どのように変化するの?」「その変化の影響は?」などなど、
病気のメカニズムを知っておくと、からだの異変をキャッチし、適切な対処をするのに役立つでしょう。

●たとえば、身近なあの症状のメカニズムは…?

自覚症状は
からだの異変を
知らせる
大切なサイン。
かかりつけの
お医者さんに
相談しましょう。



発熱	<p>脳の視床下部にある体温調節中枢が、熱の産生と放散のバランスをとっています。そのバランスが崩れ、平熱よりも体温が上昇している状態が、「発熱」です。</p> <p>体内に侵入したウイルスや細菌を排除したり、けがや腫瘍による炎症に反応していたり、脳腫瘍・脳血管障害や熱中症で、体温調節中枢がダメージを受けている場合などに起こります。</p>
頭痛	<p>頭痛には原因がはっきりしないものもありますが、主な原因としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「頭部の血管の急激な拡張」 ・「首や肩の筋肉のこわばり」 ・「目・鼻・耳などからの関連痛」 ・「頭蓋外の痛覚刺激」(頭皮や筋肉や血管組織の神経への刺激) ・「頭蓋内の痛覚刺激」(脳を保護する硬膜や脳の表面の血管への刺激) などがああります。 <p>また、頭痛には原因となる疾患がない「一次性頭痛」(いわゆる“頭痛もち”、片頭痛など)と、頭やからだに原因となる疾患がある「二次性頭痛」(脳梗塞など)があります。</p>
めまい	<p>平衡感覚を維持する仕組みは、下記のようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼や耳(内耳で上下左右や回転の情報を感じる)、筋肉などからバランスを保つための情報を得る →脳幹・小脳に届き、からだの各器官に指令が出される →視野の安定、姿勢の保持、自律神経による平衡感覚の維持などが行われる <p>この仕組みが何らかの原因で混乱すると、めまいが起こります。</p> <p>めまいには、ぐるぐる回っているように感じる「回転性めまい」と、「非回転性めまい」があります。</p> <p>非回転性めまいには、体がぐらぐらしてまっすぐ歩けない「動揺性めまい」や、ふわふわとふらつく「浮動性めまい」、立ちくらみがして目の前が暗くなる「眼前暗黒感」があります。</p> <p>めまいを起こす疾患は様々ですが、回転性めまいは内耳の病気によるものが多く、動揺性めまいは脳の病気、立ちくらみは起立性低血圧や貧血、更年期障害などが原因となります。</p>



もっと生かそう、その検査！ ～検査の種類と結果の見方～



からだの状態を知るために、医療機関では、多種多様な検査が実施されています。
症状がある場合、からだの異変の場所と原因を特定するにはもちろん、
自覚症状が出にくい病気（高血圧や動脈硬化、がんの初期状態など）を早期に発見するためにも、検査は有効です。
たとえば毎年の健康診断で行われる検査の意味は、ご存知ですか？
検査の種類や目的、結果の読み方を知り、自分のからだの状態を知って、上手に健康を守っていきましょう。

血液検査

全身に酸素や栄養を届け、
二酸化炭素や老廃物を回収する血液は
常に全身の健康状態を反映しています。
からだのどこかに異常があると、
血液成分に影響が出ます。
赤血球や白血球などの血球成分を
調べる検査、血清たんぱくや糖質など
血清成分を調べる検査
などがあります。



胸部X線

肺炎や肺がん、心肥大など、
胸部の様々な病変を発見できます。
空気のある部分は黒く、
水分を含んだ部分は白っぽく
映ります（健康な人なら
肺は黒、骨格や心臓は白）。
腫瘍や炎症は白く映ります。

尿検査・便検査

尿や便に含まれる物質や
成分を調べます。
たんぱくや糖など必要なものが
排泄されている、
逆に不要物が排泄されない
異常を発見します。

血圧測定

心臓が全身に血液を送り出す時に
血管にかかる圧力が「血圧」。
血液を送り出す時の圧力は「最高血圧」、
血液が流れ込む時の圧力は
「最低血圧」といいます。
高血圧症や動脈硬化症、
心臓病、脳血管障害などを発見する
手がかりとなります。



インターネットで調べる

からだや症状、検査などについて調べる時に役立つサイトをご紹介します（順不同、2009年8月現在）。
なお、日本インターネット医療協議会：JIMA提唱の『インターネット上の医療情報の利用の手引き』もご参照ください。（<http://www.jima.or.jp/userguide1.html>）



高知県健康づくりホームページ

<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/>

高知県における保健・医療・福祉に関する幅広い情報を、一つにまとめた総合サイト。
検診や健康づくりについての情報も掲載されています。



こうち医療ネット

<http://www.kochi-iryo.net/qq/qq39top.asp>

高知県内の救急対応可能医療機関、医療機関情報、歯科、薬局などの情報を検索できます。



メルクマニュアル医学百科

最新家庭版 <http://mmh.banyu.co.jp/mmhe2j/index.html>

医師用 18版日本語版 <http://merckmanual.jp/mmpej/index.html>

世界で最も信頼されている医学書の一つである「メルクマニュアル」を無料で閲覧できます。
項目別、五十音別、キーワード検索が可能です。



Gooヘルスケア

家庭の医学 <http://health.goo.ne.jp/medical/>

症状や部位、病名から2500以上の病気を検索でき、原因、治療法などを医療関係者が解説しています。
臓器や細胞、骨格などの人体構造図をカラーで見られる「図解・体の仕組み」もあります。病院検索、救急法・
応急手当・医学用語の解説などの情報も。





日本医師会ホームページ「健康の森」

<http://www.med.or.jp/forest/>

安心して健康な生活をおくるために役立つ様々な知識を紹介。

「病気をチェック！」では、からだの部位や病名、検査データなどから病気をチェックすることができます。

また、「健康の森クイズ」では、知っているようで知らなかったからだの様々な仕組みをクイズ形式で学べます。

「ロボットくんのからだの旅」では、からだの中をロボットくんが案内して仕組みを解説するアニメを見ることができます。



日本小児科学会「こどもの救急」

<http://kodomo-qq.jp/>

生後1ヶ月～6歳のお子さん対象。気になる症状が病院を受診するべきものかどうか、判断の基準となる情報を提供しています。



このリストの解説部分は、下記資料を参考に作成いたしました（順不同）。

- ・『からだの地図帳』（講談社、1989）
- ・鈴木洋通／著『図解入門 よくわかる最新からだの基本としくみ』（秀和システム、2008）
- ・増田敦子／著『解剖生理をおもしろく学ぶ』（医学芸術社、2008）
- ・北村惣一郎／総監修『からだと心の医学事典』（法研、2008）
- ・『新版 病気の地図帳』（講談社、2000）
- ・『ニュートンムック からだと病気』（ニュートンプレス、2007）
- ・安藤幸夫・真山享・藤田善幸／著『検査の手引き 改訂第5版』（小学館、2007）



その1 大きなイラストや写真でからだを見る

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
1	からだの地図帳	講談社／編	講談社	1989	491.1	一般・学生・医師	<p>* 精密なオールカラーのイラスト約300点で、臓器の位置や働きを確認できる。実物大の臓器図もある。部位ごとの主な異常や病気も確認できる。</p> <p>* 5部構成「頭と首」「胸部」「腹部」「手と足」「全身」</p> <p>* 資料編:「からだの数値」「おもな検査の正常値」「知っておきたい用語の解説」など</p> <p>* 索引あり</p> <p>(「監修のことば」より)</p> <p>日常の診療で、わたしたち医師が患者さんや家族に病状を説明したり、必要な手術の概要を説明しようとする、まず、からだの構造や臓器の働きを理解してもらう必要がある。このとき写真や正確な図があると正しい理解がはやく得られる(中略)本書は、からだ全体を広く偏りなく、見わたせるように構成されている。たとえば病院で担当医の説明を聞くときなどに持参して、本書の図のうえで要点を指摘してもらい、そのあと自分で時間をかけて解説をじっくり読み返して理解を深めるといふ使い方をしていただければ、要に即して、からだの<地理>について正確なイメージを持つことができると思う。</p>
2	細胞と組織の地図帳	和気 健二郎／著	講談社	2003	491.1	一般・学生・医師	<p>* 84年刊「医科学大事典 Suppl. 1」を全面改訂したもの</p> <p>* 知見を組み合わせ全体像を構築すべく工夫して作画されたオールカラーのイラストで、細胞や器官の構造と機能を確認できる。</p> <p>* 2部構成:「器官を構成する細胞と組織」「器官の構造と機能」</p> <p>* 巻末に参考文献と索引あり</p> <p>からだの中の細胞、組織、器官がどんな構造をして、どんな仕組みで動いているか。虫眼鏡のレベルから電子顕微鏡のレベルまで、人体器官の複雑で美しい微細構造をイラストレーションで紹介。ミクロ解剖学の決定版。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
3	脳の地図帳	原 一之／著 埼玉医科大学非常勤講師	講談社	2005	491.3	一般・学生・医師	<p>* オールカラーの図解で、脳の原型である脊髄の初期発生から順次複雑に変遷していく脳の構築を、要所を単純化・簡略化して紹介</p> <p>* 5部構成:「総論」「下位脳」「上位脳」「脳室、髄膜、血管系」「図譜でみる脳の内部」</p> <p>* 巻末に参考文献と索引あり</p> <p>.....</p> <p>なぜ脳はこれほどまで複雑な形になったのか。何がそうさせたのか。その筋道を見極めるところに脳の機能を理解するポイントがある。発生学を基礎として、脊髄の初期発生から順次複雑に変遷していく脳の構築を解説。</p>
4	感覚の地図帳	山内 昭雄／共著 鮎川 武二／共著 【山内】東京藝術大学教授(解剖学) 【鮎川】日本歯科大学教授(物理学)	講談社	2001	491.3	一般・学生・医師	<p>* オールカラーのイラストや写真で、生体が受ける多種多様な刺激を、どのような器官がどのように受容・伝達し、感覚として認識するかの経路を開設。構造図は理解のためあえて平面の図示となっている。</p> <p>* 3部構成:「総論」「特殊感覚」「一般感覚」</p> <p>* 索引あり</p> <p>.....</p> <p>なぜ見え、なぜ聞こえ、なぜ感じるができるのか。ヒトは必要な情報を、眼・耳・鼻・口・皮膚などの感覚器をフル活動させてとらえている。外界の刺激をとらえる、その精緻で驚くべきしくみを詳細に解説する。</p>
5	人体の不思議 第1巻 支える、動く 骨・筋肉系	佐藤 達夫／監修 東京医科歯科大学名誉教授	メディッシュ	2004	491.3/1	一般	<p>* オールカラー。「人体の不思議」展で公開された献体標本の写真がメインとなっている。</p> <p>* 簡潔な図・イラスト・写真を多用して視覚的に分かりやすいように記述されている。</p> <p>* 巻末に用語集と対応するページの記載あり</p> <p>.....</p> <p>60兆個もの細胞でできているといわれる人体。その細胞の集まりである私たちが歩いたり、遊んだりできるのは、骨が体を支え、筋肉がそれを動かすから。約200個の骨と約400個の筋肉、その形や働きを探る。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
6	人体の不思議 第2巻 コントロールする 神経系・感覚器	佐藤 達夫／監修	メディッシュ	2004	491.3/2	一般	<ul style="list-style-type: none"> * オールカラー。「人体の不思議」展で公開された献体標本の写真がメインとなっている。 * 簡潔な図・イラスト・写真を多用して視覚的に分かりやすいように記述されている。 * 巻末に神経系・感覚器の主な病気の解説と、用語集(対応するページの記載つき)あり
		東京医科歯科大学名誉教授					神経系と感覚器は、人体に組み込まれた超高性能の情報ネットワーク。私たちの生命と意思や行動をコントロールする神経系と感覚器の巧みなシステムを、人体標本や図解を駆使してわかりやすく詳しく解説する。
7	人体の不思議 第3巻 取り込む 消化器・呼吸器系	佐藤 達夫／監修	メディッシュ	2004	491.3/3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * オールカラー。「人体の不思議」展で公開された献体標本の写真がメインとなっている。 * 簡潔な図・イラスト・写真を多用して視覚的に分かりやすいように記述されている。 * 巻末に消化器・呼吸器の主な病気の解説と、用語集(対応するページの記載つき)あり
		東京医科歯科大学名誉教授					人間は植物とは異なり、活動のためのエネルギー源や体の材料となる栄養素、その分解に必要な酵素などを、自分で取り込まなければ生きていけない。一生続ける食事と呼吸。体内でどんなことが起きているのかを探る。
8	人体の不思議 第4巻 めぐる・守る 循環器・血液・免疫系	佐藤 達夫／監修	メディッシュ	2005	491.3/4	一般	<ul style="list-style-type: none"> * オールカラー。「人体の不思議」展で公開された献体標本の写真がメインとなっている。 * 簡潔な図・イラスト・写真を多用して視覚的に分かりやすいように記述されている。 * 巻末に循環器・血液・免疫系の主な病気の解説と、用語集(対応するページの記載つき)あり
		東京医科歯科大学名誉教授					体中に酸素や栄養素を送り届け、同時に老廃物を集める血液とリンパ液。その流れを起こす原動力の心臓と、そのルートとなる血管網やリンパ管の構造。絶妙なセキュリティに守られた体の流通システムをのぞいてみよう。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
9	人体の不思議 第5巻 調整する、生み育てる 泌尿器・生殖器・内分泌系	佐藤 達夫／監修 東京医科歯科大学名誉教授	メディッシュ	2005	491.3/5	一般	<p>* オールカラー。「人体の不思議」展で公開された献体標本の写真がメインとなっている。</p> <p>* 簡潔な図・イラスト・写真を多用して視覚的に分かりやすいように記述されている。</p> <p>* 用語集(対応するページの記載つき)あり</p> <p>pHなどの調整のため、不要なものを排泄する泌尿器。神経系と連携し、ホルモンによって全身の機能を調整する内分泌系。そしてこれらをつかさどる臓器や器官は、人の生殖にも関わっている。その不思議な働きを探る。</p>
10	体内の神秘 皮膚の下に広がるファンタスティックな生命の鼓動とアートの世界	スーザン・グリーンフィールド ／著 崎山 武志／日本語版 監修 玉寄 敦子／訳 【グリーンフィールド】英国王立研究所所長。上級勲爵士授与。薬理学博士。オックスフォード大学、フランス大学、ニューヨーク大学メディカルセンターの生理学特別研究員の資格を持つ。	産調出版	2005	491.3	一般	<p>* オールカラー。細胞や組織を、最新の画像技術で何千倍にも拡大し、撮影した写真で構成。各画像には、撮影方法や、何を表すかなどについて解説が添えられている。</p> <p>* 本の高さ35センチの大型本</p> <p>* 4部構成:細胞/組織/器官系/脳と感覚</p> <p>* 巻末に索引あり</p> <p>今まで見たことのない人体の実像を目にする時がきた。最新の画像技術で、インサイド・ボディ=体内を冒険し、人体の驚くべき仕組みを発見しよう。画像には、撮影方法や何を表すかなどについて解説が付いている。</p>

その2 からだの名前やしくみを学ぶ

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
1	骨単 ギリシャ語・ラテン語 語源から覚える解剖学英単語集 骨編	原島 広至／本文・イラスト 河合 良訓／監修	エヌ・ティー・エス	2004	491.1	医療関係者・学生・一般	<p>*医学用語のうち骨学に関する英単語約800語。ふりがな、発音カタカナ表記付き。</p> <p>*日本語、図解、英語、語源解説の独立した4ブロック。ページの開き方により、【1】日本語から英語【2】英語から日本語【3】図解から日本語【4】図解から英語の暗記テストができる構成。</p> <p>*骨の位置によりA～Zにページが分類されており、ページ下に現在どの部分を見ているのか、A～Z(全身)を並べたインデックスが付いている。</p> <p>*参考文献、参考ホームページ、索引あり</p> <hr/> <p>(「監修のことば」より) 現代の医療や科学の世界ではその著しい進歩に比例するようにおびたしい略語が日々作られ使われている。医療に携わる人は現実に、そのほとんどを語源にまで立ち入る余裕もないまま、それらを使わざるを得ない状況なのである。(中略)しかし、そういう現状であるがゆえに、医学用語の一部である解剖学用語に関してその語源をたどりながら言葉を理解する、あるいは理解しなおすことには十分に意味がある。</p>
2	肉単 ギリシャ語・ラテン語 語源から覚える解剖学英単語集 筋肉編	原島 広至／文・イラスト 河合 良訓／監修	エヌ・ティー・エス	2004	491.1	医療関係者・学生・一般	<p>*医学用語のうち筋学に関する英単語約550語。ふりがな、発音カタカナ表記付き。</p> <p>*日本語、図解、英語、語源解説の独立した4ブロック。ページの開き方により、【1】日本語から英語【2】英語から日本語【3】図解から日本語【4】図解から英語の暗記テストができる構成。</p> <p>*筋肉の位置によりA～Zにページが分類されており、ページ下に現在どの部分を見ているのか、A～Z(全身)を並べたインデックスが付いている。</p> <p>*参考文献、索引あり</p> <hr/> <p>(「監修のことば」より) この『肉単』では、個々の骨格筋が重畳しないようにして同時に起始停止を示す方法を工夫した。そのほか、筋収縮による間接運動の記載方法にも氏独自の工夫が凝らされている。全身の骨格筋の存在様式や作用を、イラストや表を使って読者にできる限り分かりやすく表現しようという氏の努力と工夫は、本書において遺憾なく発揮されていると思う。しかし、本書の主眼はあくまでイラストで示された用語の語源解説にある。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
3	人体観の歴史	坂井建雄／著 順天堂大学医学部教授	岩波書店	2008	491.1	医学・解剖学・歴史学・書誌学等の研究者	*2段組。古代ギリシャ以降の解剖学書の原資料(一次文献)から、各時代と場所の人体間を読み解き、変遷の歴史を考究。「実見にもとづく詳細な叙述。希少かつ秀逸な解剖図を多数掲載。資料価値の高い、世界でも他に類を見ない研究書である」(見開きより) * 序論、第1～7章、補論1・2の構成 * 巻末に詳細な注、参考文献リスト(辞書類、二次文献[外国語]、二次文献[日本語訳書])、人名・著作リスト(一次文献)、年表、人名索引あり 人間は、己の身体内部を見つめて「人体観」を培ってきた。古今の解剖学書を手がかりに、その変遷を考究する。
4	解剖生理をおもしろく学ぶ	増田敦子／監修 了徳寺大学健康科学部教授	医学芸術新社	2008	491.1	学生、一般	* カラーのイラスト、漫画、図解多数 * 巻末に索引、参考文献あり 自分のからだについて、興味を持つことから始めてみよう。生理学的にからだに向き合い、ヒトが生きて活動するためのメカニズムを「知って」「理解する」ことで解剖生理学を学ぶ、今までになかった入門書。
5	図解入門 よくわかる最新からだの基本としくみ 人体のメカニズムを図解する!	鈴木洋通／監修 埼玉医科大学腎臓内科教授	秀和システム	2008	491.3	一般	* オールカラー。1項目につき、左に図解、右に解説文の見開き完結形式。 * 巻末に索引と参考文献あり 自分のものなのに知らないことが非常に多い人体のことを、豊富な図解ですみずみまで解説。脳や神経、臓器や骨格など、身体の構造や働きを理解できる。人体の基礎知識がわかりやすく書かれた1冊。
6	図解からだのしくみがわかる本 驚異の人体システムを探る	桜木 晃彦／著 東京芸術大学非常勤講師(医学博士)	新星出版社	2002	491.3	一般	* 1項目につき上に図解、下に解説文の見開き完結形式。 * 巻末に索引あり (「はじめに」より) もうすでに、人体についての本とか健康についての本、もう少し枠を広げて、ダイエットの本とかトレーニングの本が数多く出版されています。これらの本に手を伸ばす前に、ほんとうに基本的な知識、それも予備知識なしに得ることができるような、いい換えると「私たちのからだはどうなっているのか」をやさしく理解できるような本が必要なのではないでしょうか。この本は、人体・健康に関するすべての本を読む前に読む本として書かれました。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
7	好きになる生理学 からだについて の身近な疑問	田中 越郎／著 東京農業大学教授(医学博士)	講談社	2003	491.3	一般	* 全体を2部に分け、第1部で重要な項目、第2部で「好きになる」に重点を置いて、従来の生理学の枠にとらわれず楽しそうな項目を抜粋 * 白黒だがイラスト・漫画あり * 巻末に参考文献と索引あり 漫画とイラストが満載の生理学入門書。コレステロール値が高いとなぜ健康に悪いのか、レントゲンとMRIの違いとはなど、基礎知識と最新知識が楽しく学べる。生理学を初めて学ぶ人に贈る1冊。
8	よくわかる生理学の基本としくみ	当瀬 規嗣／著 札幌医科大学医学部教授	秀和システム	2006	491.3	一般・学生	* 全12章。図解も交え、各項目数ページでまとめられている、 * 巻末に索引あり (目次より) 1 自分のからだに感動しよう！(生理学とは何か) 2 食べること(消化器系) 3 息をすること(呼吸器系) 4 体を動かす(筋肉、運動系) 5 ちよつとおトイレに(腎泌尿器系・排便機構) 6 ぐっすりとおやすみ(生体リズム、睡眠機構) 7 ここで細胞について考えてみる(細胞生理学) 8 熱き血潮の役わり(血液・循環系) 9 太る？やせる？(中間代謝、エネルギー代謝) 10 体調を整える(内分泌系と自律神経) 11 痛い！冷たい！見えた！聞こえた！(感覚系) 12 脳を使って脳を考える(脳機能)
9	基礎からわかる生理学 しっかり理解したい人の	岡田隆夫／著 順天堂大学教授	ナツメ社	2008	491.3	一般・学生	* 「優子」と「良太」の恋物語を通して生理学を学ぶ仕組み。コラムや図解も多数ある。 * 巻末に「生理学をよく理解するために」、参考文献、索引あり 生理学は、人体にある様々な臓器や器官がどのような役割を担っているのかを理解し研究する学問。本書は、看護師の資格はもちろん、理学療法士などコ・メディカル系の資格を取得するにも不可欠な生理学を詳しく解説。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
10	身体のからくり事典	杉崎 紀子／著 ----- 神奈川県立衛生短期大学助 教授(保健学博士)	朝倉書店	2001	491.3	学生	<p>* 大きく4章に分かれるが、本文は各項目ごとに完結。 * 1項目につき見開き完結、右に白黒のイラスト図解、左に解説文 * 索引と「豆知識索引」あり。本文各項目の始まりと終わりに項目と関係のある身近な話題が組み込まれているが、その部分を引くことができる。</p> <p>----- (目次より) 1 身体機能の基礎知識 2 病気の基礎知識 3 健康生活の基礎知識 4 健康政策の基礎知識</p>
11	図解雑学 老化のしくみと寿命	藤本 大三元／著 ----- 東亜大学大学院教授	ナツメ社	2001	491.3	一般	<p>* 全8章で老化のしくみと寿命についての研究結果をやさしく解説 * 1項目は見開き完結：左側に解説文、右側に図解 * 索引あり</p> <p>----- 年をとると皮膚にはシワやシミが目立ち、髪は白くなり、耳も遠くなる。老化の仕組みは非常に複雑で複数の要因が絡みあい、不明な点が多い。〈老化のしくみ〉と〈寿命〉について最新の研究結果をやさしく解説した1冊。</p>

その3 からだを“読む”

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
1	にんげん百物語 誰も知らない からだの不思議	福井 栄一／著 上方文化評論家	技報堂出版	2007	491	一般	<p>*「頭」から「足指」まで、全100話を収録。1話は見開き完結。 *「頭」「額」など、大きな項目ごとに、語源やその部位の病気を治すといわれる民間療法、その部位にご利益のある寺社などがまとめられている。 *巻末に「主要参考文献一覧」あり</p> <p>万人が常に大きな関心を寄せる「からだ」は、今も昔も物語の宝庫。頭が大きい人はかしこいか、舌と脳、纏足という悲劇など、「からだ」をキーワードにした100物語を、「頭」から「足指」までの項目ごとに展開。</p>
2	私のからは世界一すばらしい	アンドレ・ジオルダン／著 遠藤 ゆかり／訳 スイスのジュネーブ大学で教鞭をとる(生物学博士・教育学博士)	東京書籍	2001	491.3	一般	<p>*ユーモアに富んだ口調で語られた生物学博士による「自分探し」の本(訳者あとがきより)。読み物形式、全11章 *巻末に注釈あり *参考文献(洋書)あり</p> <p>精子と卵子の奇跡的な出会い、体内の動物園と植物園、水の役割、4種の記憶ほか、人体の驚異を散文詩のように語る生理学・哲学エッセイ。</p>
3	世界で一番ふしぎな「人体」の地図帳	雑学博士協会／編	青春出版社	2008	491.3	一般	<p>*人体の不思議や素朴な疑問を「臓器」「生理現象」「骨と皮と筋肉」「感覚」「病気」「心との関係」に分類。〈たんこぶの中身って何だ?〉といった疑問ごとに見開き完結する読み物。 *巻末に参考文献あり</p> <p>人は1度にどれくらい食べられるか、我慢したオナラはどこへいくのか、ぎっくり腰はなぜ突然起こるのか、白髪を増やすストレス以外のビックリな理由などなど、ついつい人に教えたくない人体の不思議がつまった1冊。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
4	骨が語る スケルトン探偵の報告書	鈴木 隆雄／著 東京都老人総合研究所疫学部長、東京大学代闘員客員教授	大修館書店	2000	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 白黒図表、写真あり * 巻末に参考文献あり * 5章構成:「スケルトン探偵団中国に飛ぶ」「骨に病んだ人々」「骨の進化」についての報告書」「骨の老化」についての報告書」「骨の日常活動」についての報告書 <p>(「はじめに」より) 骨がもつ多くの情報や特徴は、意外にも現実の私たちの暮らしと生活、健康あるいは病気といった日々の現象とリンクしていることが少なくない。(中略) 本書では骨のもつさまざまな情報を、まさに探偵のようにいろいろな角度から探検し、さまざまな謎を解明してゆきながら、古えの人々の生活を想い、我々の健康を、老化を想い、そして数億年にわたって連綿と続いてきたこの地球上の生命の歴史にも思いをいたしたいと思う。</p>
5	骨と関節の不思議 からだを動かし支える仕組みを解く	今井 望／著 東海大学名誉教授(医学博士)	東海大学出版会	2000	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 全17章 * 図解あり * 巻末に参考文献、索引あり <p>(「はじめに」より) 本書では、運動器の仕組みについて、たいせつな部分をできるだけわかりやすく解説し、いくつかの運動器の故障について話をすすめていくことにします。</p>
6	血液の知識 しくみと働き	宮地 勇人／著 東海大学医学部臨床検査医学助教授(医学博士)	東海大学出版会	2002	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 巻頭にカラー写真あり、白黒図表あり * 巻末に参考文献、索引あり <p>血液検査によって、血液の組成や働き、病気など多くのことがわかる。体を安定した状態に保つためには、出血や止血、免疫の調整が大切。血液の基礎知識と最新知見を解説する、やさしい血液学の書。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
7	心臓にいい話	小柳 仁／著 東京女子医科大学名誉教授	新潮社	2006	S/498.4	一般	<p>* 新書、全8章:「意外に知られていない心臓の知識」「心臓外科の歩み」「心臓はどんな病気になるか」「心臓の状態を知るために」「心臓病はこうやって治す」「健康な心臓をつくる」「もしも心臓病にかかったら」「どうしても伝えておきたいこと」</p> <p>(見開きより) 狭心症に心筋梗塞、大動脈瘤—、がん・脳血管疾患と並んで日本人の三大死亡原因である心臓病。高齢化によりさらに増えつつある心臓の病気で死なないための知識を、四十年以上の臨床経験を誇る心臓外科の権威がやさしく説く。ダ・ヴィンチやリンドバーグも登場する心臓の歴史、機能とトラブル、心臓にいい生活、治療の最先端、そして患者の心得など。心臓に不安のある人もない人も、胸がすっきりする一冊！</p>
8	専門医が語る毛髪科学最前線	板見智／著 大阪大学大学院医学系研究科 皮膚・毛髪再生医学寄附講座教授	集英社	2009	S/494.8	一般	<p>* 新書、全7章 * 写真等をまじえ、研究の最前線にいる専門医が抜け毛・薄毛のメカニズムをやさしく解説しながら、最新の治療法を紹介</p> <p>分子生物学の研究が進んだ恩恵で抜け毛の謎が解明され、治療方法も大きく進歩しつつある。専門医がその研究の最前線を解説し治療法を紹介する。</p>
9	脳 1冊でわかる	マイケル・オーシェイ／〔著〕 山下博志／訳・解説 【オーシェイ】サセックス大学教授 【山下】大阪学院大学情報学部准教授(比較心理学・認知心理学)	岩波書店	2009	491.3	一般	<p>* 巻末に解説、「日本の読者のために」(脳や脳科学についてより詳しく知るための文献を紹介)、「文献案内」(洋書)あり</p> <p>脳内の情報伝達メカニズムからコンピュータ科学との接点まで、進展著しい脳研究の新知見を平易に解説。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
10	脳研究の最前線 上	理化学研究所脳科学総合研究センター／編	講談社	2007	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 講談社ブルーバックシリーズ * 上巻は第1章～第6章までを収録 * 白黒だが図解多数 * 巻末に参考文献・執筆者略歴・索引あり <p>最新の脳科学を用いて、12人の研究者が脳とこころの謎に挑み、脳科学の流れと将来への展望を示す。脳科学総合研究センター創立10周年記念出版。本巻では、記憶や認知のしくみ、知性の起源などを紹介。</p>
11	脳研究の最前線 下	理化学研究所脳科学総合研究センター／編	講談社	2007	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 講談社ブルーバックシリーズ * 下巻は第7章～第12章までを収録 * 巻末に参考文献・執筆者略歴・索引あり <p>最新の脳科学を用いて、12人の研究者が脳とこころの謎に挑み、脳科学の流れと将来への展望を示す。脳科学総合研究センター創立10周年記念出版。本巻では、精神疾患やロボットから脳を科学する方法などを紹介。</p>
12	見る 眼の誕生はわたしたちをどう変えたか	サイモン・インクス／著 吉田利子／訳 【インクス】サイエンスライター、小説家	早川書房	2009	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 巻頭にカラー写真16ページ分あり * 全10章で眼に関するテーマを網羅、一般向けではあるが専門性が比較的高い読み物 <p>どうやって人はものを見ているのか、その謎に多くの哲学者や科学者が取り組んできた。眼の進化と意識、色覚えや錯覚に隠された秘密、視覚の未来まで、眼と「見ること」のすべてを科学と歴史から探究する。</p>
13	眼が人を変える	田村 知則／著 小林 信也／著 【田村】スポーツ・ビジョン・アドバイザー、日本視覚行動学協会理事長 【小林】スポーツライター、エッセイスト	草思社	2001	491.3	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 図解、3Dチャートあり * 全7章の読み物形式 * 巻末に参考文献、「ビジョン・メンタル・チャート」の入手方法と検査用紙の見本付き <p>(見開きより) イチローの眼はなぜよく見えるのか。眼は心の窓というが、心の問題が眼に表れるし、逆に眼をうまく使えば、心の状態もよくなる。イチローの眼のトレーナーを勤めた田村氏は「外の眼」(一般的視力)と「内の眼」(意識内の視力)という言葉で、眼と心理や行動との関連性を追求し、現代人が忘れかけている眼の本質的な機能を回復させてくれる。パソコン画面に疲れたあなたに健康的な眼と心を取り戻すための必読書。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
14	眼に効く眼の話 歴史の中の「眼」を診る	安達 恵美子／著 千葉大学医学部教授	小学館	2003	496	一般・学生	<ul style="list-style-type: none"> * 白黒だが写真、絵が多数あるエッセイ形式 * 巻末に参考・図版引用文献あり * 5部構成:「歴史上の人物」「小説&物語」「絵画&映画」「音楽&オペラ」「研究&開発」 <p>(「はじめに」より) 眼科医という職業柄、「眼」に関することにはとりわけ敏感に反応してしまいます。(中略) 学術誌に「フォトコンテ」という眼にまつわる短いエッセイの連載をはじめ、(中略)「フォトコンテ」は写真や絵が入っているのが特徴で、今回はこのエッセイをもとに、主に眼の病気の説明を加筆し、写真や絵も新しく追加しました。(中略) その時代の歴史や文化などを考えつつ、あの人はこんな病気だったんだ、この人はこんな風に見えていたんだと、楽しく読んでいただけたらと考えています。</p>
15	メディカルサイエンスシリーズ 8 眼の話	河合 憲司／著 東海大学医学部医学科専門診療学系 眼科 教授	東海大学出版会	2007	496	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 5章構成:「眼の病気から考える発生と解剖」「物を見る、色を感じる視覚のしくみ」「近視、遠視、乱視、老眼」「眼鏡とコンタクトと近視矯正手術」「神経眼科」 * 巻末に参考文献あり <p>眼の病気から考える発生と解剖、物を見、色を感じる視覚の仕組み、近視・遠視・乱視・老眼、メガネとコンタクトと近視矯正手術、神経眼科についてまで、眼に関する様々な知識と病気の最新情報を紹介する。</p>
16	涙のチカラ 涙は7マイクロリットルの海	坪田一男／著 慶應義塾大学医学部教授	技術評論社	2008	496.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 「知りたいサイエンス」シリーズ、全6章の読み物形式 * 巻頭にカラー写真あり、図解・写真あり * 巻末に参考文献、索引、関連ホームページあり <p>太古の昔から大切に抱え持ってきた小さな海・涙。たった7マイクロリットルの海だけど、その中には、とてつもなくたくさんの科学、緻密な生物のメカニズムが秘められている。涙の大きなチカラに迫る興味深い1冊。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
17	匂いの記憶 知られざる欲望の起爆装置:ヤコブソン器官	ライアル・ワトソン／著 旦 敬介／訳 【ワトソン】生命科学者	光文社	2000	491.3	一般	* 3部構成の読み物形式 * 巻末に参考文献、養老孟司による解説あり 〔「解説」より〕 この本で、ワトソンは嗅覚について語っている。その中心になっている事実は、(中略)機能しているヤコブソン器官である。医学系の教科書では、どのような根拠があったのか、この器官はヒトでは胎生期に退化すると書かれているのが普通である。(中略)この器官がどのようなものかは、この本の第1部でワトソンが詳しく語っている。(中略) このヤコブソン器官が哺乳類ではフェロモンの感知に関わっている。それがわかってきた。ワトソンは第II部で、ヤコブソン器官について、現在まで知られている機能的な事実をまとめる。それならヒトではどうなっているのか。その疑問を中心にして、第III部ではさらにさまざまな議論を展開する。
18	匂いの帝王 天才科学者ルカ・トゥリンが挑む嗅覚の謎	チャンドラー・パール／著 金子 浩／訳 【パール】ジャーナリスト	早川書房	2003	491.3	一般	* 2部構成全8章の読み物形式 * 巻末に著者インタビューあり 〔見開きより〕 最先端の化学をもってしても、いまだ解明されない匂いのメカニズム。この超難解な謎にとりくんだ一人の天才科学者がいた。彼の名はルカ・トゥリン。 (中略) やがて、並外れた知性と能力をもとに、嗅覚のしくみを解く新理論を生みだすが・・・ いま、世界中に注目されている天才科学者の半生を追った衝撃のノンフィクション。
19	味とにおい 感覚の科学—味覚と嗅覚の22章	グラハム・ベル／編 アネスリー・ワトソン／編 川口 健夫／訳 【ベル】New South Wales大学 ChemoSensory研究センター 所長 【川口】薬学博士	フレグランスジャーナル社	2002	491.3	研究者・一般	* 全22章、論文形式で各章末に参考文献あり * 図表あり 〔「訳者あとがき」より〕 本書は1996年11月、オーストラリア、シドニーで開催された[Sendory Science: Meeting Industry Needs]と題するセミナーでの発表内容を、各演者が後に書き下ろした原稿で構成されています。(略) 感覚化学の産業利用を展望するのが本書の目的ですが、その構成は極めて多岐にわたり、生物学、生理化学、神経生理学、解剖学から統計学、電子工学、さらには歴史学や文化人類学にまで及んでいます。
20	おもしろい歯のはなし60話	磯村 寿賀人／著 歯科医	大月書店	2000	497	一般	* プロローグ、第1話～第58話、エピローグ。イラスト・写真あり * 巻末に引用・参考文献、図版・写真出典一覧あり 〔「プロローグ」より〕 この本では、「歯」というものを考えてみたいという意味で、「歯」にまつわるよもやま話を60話ほどしてみたいと思います。むつかしいことはできるだけさけて、歯に関するおもしろそうな話題をいろいろな方面から集めてみて、最終的には「ああ、そうなのか、健康のためには歯も大切なんだな」と納得していただければ幸いです。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
21	声の呼吸法 美しい響きをつくる	米山 文明／著 作陽音楽大学客員教授(医学博士)	平凡社	2003	491.3	一般	*「声をよくするトレーニング」のイラストあり * 巻末に「参考資料」と「参考文献」あり 呼吸と姿勢とリラックスが、響きある歌声を生み出して体を楽器にする。声帯障害の専門医がイラスト付きで紹介する呼吸法のワークショップ。よい声作りの具体的な方式と、準備すべき要点を解説する。
22	「声」の秘密	アン・カーブ／著 梶山あゆみ／訳 【カーブ】イギリスの作家、ジャーナリスト、社会学者	草思社	2008	491.3	一般	* 3部構成全16章の読み物形式:「声の生態」「声を支配するもの」「声の温故知新」 あらゆる人間関係に大きな影響を与えている声。人間だけが使いこなしているこの最強の道具について、多彩な視点から読み解く1冊。赤ん坊の泣き声から政治家の演説まで、具体例とともに驚きに満ちた声の世界へ誘う。
23	声の不思議 診療室からのアプローチ	一色 信彦／著 一色クリニック院長、京都大学名誉教授	中山書店	2006	491.3	一般	* CD-ROM付き:動画での症例紹介。治療前後の声のサンプル入り * 4章構成:「声の出るまでと声の出るしくみ」「声の病気を治す」「声と日常生活」「音の話—音響学の基礎」 * 巻末に参考文献あり (「はじめに」より) 第一章では声ができるようになった進化の過程とその仕組みについて、第二章ではこれら声の病気についての質問に答え、声の治療を通して味わった驚き、生理現象の中での声の特異性を強調し、さらに治療法の変遷について述べます。第三章では広く日常生活にも関連ありそうなトピックス、たとえば声による個人の同定、声の養生法、訓練法など実用的問題をいくつか取り上げます。また面白くないけれど基礎的なことで、知っておいたほうがよいというようなことは、最後の第4章にまとめておきました。
24	手の五〇〇万年史 手と脳と言語はいかに結びついたか	フランク・ウィルソン／著 藤野 邦夫／訳 古賀 祥子／訳 【ウィルソン】アメリカの神経科医	新評論	2005	491.1	研究者・一般	* 巻末に詳細な原注、参考文献(邦訳文献もあり)、人名索引あり。原文での脚注も多数あり、各ページ横に記載。 (見開きより) この「手」がなかったら、われわれはどこにいるのだろうか。われわれの生活は、じつに巧妙に静かに、手が関係する日常的な経験にあふれすぎているので、現実にとれほど手に頼っているのかをめぐって考えることはない。あなたが手にするこの書物は、人間の手について考えようとする。本書は手のことをもっと知りたいと考えだした、二十年近い個人的・職業的経験から誕生した。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
25	皮膚は考える 岩波科学ライブラリー 112	傳田光洋／著 資生堂ライフサイエンス研究センター主任研究員	岩波書店	2005	491.3	一般	<p>* 6章構成:「皮膚は最も大きな臓器「外臓」である」「電気仕掛けの皮膚機能」「情報伝達物質を生み出す皮膚」「皮膚はセンサーである」「皮膚は脳である」「身体の健康、こころの健康も皮膚から」</p> <p>(「序論」より) 本書ではまず、従来知られてきた皮膚のバリア機能について述べ、ついでそれを担っているのが、神経系などと同様、電気的なシステムであることを示します。さらに身体全体の機能に影響するホルモンなどの内分泌系、あるいは身体の重要な防御システムである免疫系にも皮膚が重要な影響を及ぼしていることについて述べます。そしてさらには皮膚上層の表皮と中央神経系との類似性について、最新の知見を詳解し、まさに皮膚が脳のように考える臓器であることを示したいと思います。最後に、皮膚への施術が多い東洋医学についての新しい考察、皮膚科学の未来について語ってみたいと思います。</p>
26	賢い皮膚 思考する最大の〈臓器〉	傳田光洋／著 資生堂ライフサイエンス研究センター主任研究員	筑摩書房	2009	S/494.8	一般	<p>* 新書。全6章。内容はかなり専門的。 * 巻末に参考文献あり</p> <p>外界と人体の境目、皮膚。今、そこに秘められた精妙なメカニズムが次々に解明されつつある。身近なトピックから、皮膚が脳と同じ機能を担うという信じ難い働きにまで迫る。皮膚第一人者が贈る出色の皮膚科学読本。</p>
27	うんちとおしっこの100不思議	左巻 健男／監修 山本 文彦／編著 貝沼 関志／編著 【左巻】京都工芸繊維大学アドミッションセンター教授(科学教育) 【山本】九州大学大学院薬学研究所助手(薬学博士) 【貝沼】藤田保健衛生大学医学部麻酔科助教授(医学博士)	東京書籍	2001	491.3	一般	<p>*1テーマ見開き完結、うんちとおしっこにまつわる全100テーマ。 * メーリングリストを利用し、各自の原稿を執筆者同士で査読して、OKが出るまで推敲したもの * 巻末に参考文献、参考URLあり</p> <p>(「読者のみなさんへ」より) 私たちが毎日おつきあいしている排泄の行為と、その排泄物であるうんちとおしっこをわかりやすくクールに解説しようとした本です。(中略) うんちとおしっこの科学、体と健康の方面からの医学、そしてちよびり民俗学などで100テーマ集めました。</p>

4 これって病気？ 病気のメカニズム

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
1	からだと病気 どうすれば治るのか？そもそも原因は？ ニュートムック		ニュートンプレス	2007	490.4	一般	<p>*オールカラー、図解や写真多数</p> <p>(「はじめに」より) 本書ではまず、主な臓器の基本的なしくみを図解し、それをふまえて、各臓器のはたらきが不調をきたしたときにおきる病気とその治療法についてもビジュアルに解説しています。(中略)本書では、免疫のしくみを明らかにする契機ともなったウイルスの正体にもせまります。また、「健康で長生き」を実現する医療に関係した最新技術の一端を紹介し、睡眠・アレルギー・疲労などにまつわる気になる話題も掲載しています。</p>
2	医学知って得する雑学百科	坂本 俊雄／著 坂本 直隆／著 坂本クリニック(医学博士)	文芸社	2007	490.4	一般	<p>*全13章の読み物形式 *巻末に参考文献あり</p> <p>(目次より) 第1章 スキあらば世界を席卷するウイルスの話 第2章 菌にも人類に負けない歴史あり 第3章 環境と生活習慣の変化で名づけられた病気 第4章 老化とどう向き合うか 第5章 人間のエンジン部分、心臓 第6章 沈黙の臓器「肝臓」が発するSOS 第7章 人体最後の秘境、脳 第8章 高速運搬人、血液と血圧 第9章 遥かなる旅路、消化器系 第10章 突然死と救急医療 第11章 バカにはしてはいけない、よくある症状 第12章 体内メカニズムの不思議 第13章 人命をおびやかす虫・動物たち</p>

3	人はなぜ病気になるのか 進化医学の視点	井村 裕夫／著	岩波書店	2000	491.6		* 巻末に索引と参考文献あり
		京都大学総長を経て科学技術会議議員、学士院会員(医学博士)					(見開きより) アレルギー、高血圧、糖尿病。高度に進化した人が、なぜしばしば病気にかかるのだろうか。それは生命進化の過程と深く関わっている。その進化の道筋が遺伝子レベルで明らかになりつつあり、その立場から、病気の成因の理解が可能になってきた。本書では、揺籃期にある進化医学の現状を紹介しながら、感染症、免疫疾患、生活習慣病の成因について、進化の視点からわかりやすく解説する。
4	ヒトはなぜ病気になるのか	長谷川 真理子／著	ウェッジ	2007	491.6	一般	* 巻末に索引と参考文献あり主要参考文献あり * 5章構成:「病気はなぜあるのか?」「直立二足歩行と進化の舞台」「生活習慣病」「感染症との絶えざる闘い」「妊娠、出産、成長、老化」
		総合研究大学院大学教授(理学博士)					(「はしがき」より) 医学は、人間の生活に病気があることは当然の現実と受け止め、それを根絶することに精魂傾けてきました。でも、なぜ病気というものが存在するのか、という根源的問いは、伝統的な医学の範疇にはありませんでした。(中略) 本書では、従来の医学の目ではなくて、客観的な生物学の目で、病気と健康を考えてみようと思います。それは、生物学の中でも、生物の進化を考える、進化生物学の目による見方です。
5	好きになる病理学 るみと健太の病理学教室訪問記	早川 欽哉／著	講談社	2004	491.6	一般・学生	* 全20講。医学部と看護学部的一年生の学生「健太」「るみ」の視点から、病理学を楽しく学ぶ。会話部分多。 * 白黒だがイラスト・写真あり * 巻末に索引あり
		大東文化大学スポーツ・健康科学部教授(医学博士)					(「まえがき」より) 病理学と聞くと、一般のヒトはなにか難しい、とっつきにくい、ラットやモルモットを使う、実験的なものを想像するようですが、一部には、確かにそういった方法もありますが、本来は病気のことを研究する学問です。(中略) 具体的には、病気の原因、病気になると、身体にどんな変化が起きるか、結果はどうなるか、などを主として形態的、機能的に観察して、診療に役立てようという、どちらかというと、基礎医学より臨床医学に近いものです。

6	病の起源 NHKスペシャル 1	NHK「病の起源」取材班／編	日本放送出版協会	2009	491.6/1	一般	<p>* NHKスペシャル「病の起源」(前6回)の前半3回分をベースに、取材時に得られた詳しい情報を加筆して書き下ろし:「睡眠時無呼吸症」「骨と皮膚の病」「腰痛」</p> <p>* カラー写真あり</p> <p>* 巻末に主な参考文献あり</p> <p>誕生から600万年、苦難を乗り越えて進化を遂げてきた人類。だがその代償として、様々な病を抱え込むことになった…。現代人が悩まされる病の原因を進化の歴史と最新研究から探る、野心的な大型番組の待望出版化。</p>
7	病の起源 NHKスペシャル 2	NHK「病の起源」取材班／編著	日本放送出版協会	2009	491.6/2	一般	<p>* NHKスペシャル「病の起源」(前6回)の後半3回分をベースに、取材時に得られた詳しい情報を加筆して書き下ろし:「読字障害」「糖尿病」「アレルギー」</p> <p>* カラー写真あり</p> <p>* 巻末に主な参考文献あり</p> <p>より快適な生活を求め、文明を築き上げてきた人類。しかしそこには様々な病を引き起こす要因が潜んでいた。人類が抱え込むことになった新しい病の起源を最新研究から探る。読字障害、糖尿病などを取り上げる第2弾。</p>
8	これって病気？	北国新聞社編集局／編	北国新聞社	2008	491.6	一般	<p>* 36の身近な症状の事例紹介、1事例は見開き完結。</p> <p>* 2008年1月5日～2月9日まで、北国新聞・富山新聞に連載された「丈夫がいいね」第十部を一部加筆、修正して収録したもの。</p> <p>* 巻末に掲載施設・団体一覧あり</p> <p>物忘れ、夜中のせき、耳鳴り、頭痛、風邪が治らない、味がしない、胃が痛い、高血圧症、足がだるいなど、ちょっとした体の不調の裏に隠れた深刻な疾患と、その治療法を紹介。</p>

9	病気のカタログ症状の見本 正しい医者のかかり方	安東満／著 (株)草健華代表(日本医師会認定産業医)	毎日コミュニケーションズ	2009	491.6	一般	<p>* よくある21の症状と、70の病気について記載 * 各病気は見開き完結で解説。「よくある自覚症状」「経緯の事例」「病気の特徴(症状・薬剤・禁止・診療)」「病気の説明や対応、かかるべき専門家について」「先生からのアドバイス」を記載</p> <p>頭がイタイ、手がシビレルなど、自覚症状からわかる、知っておきたい70の病気について紹介。各病気の経緯、医師の診断ポイント、考えられる病気の説明、対処法、かかるべき専門家などについてやさしく解説する。</p>
10	「気になる病気」の検索ブック どんな症状ですか？キーワードから予測！	石澤 晋／著 石澤内科クリニック(医学博士)	技術評論社	2006	492	一般	<p>* 索引1(症状/体調別索引)、索引2(部位別症状索引)から自分の症状を引き、共通のページを探して病気を絞り込む。 * 診断ページ(本文)には「主な症状」「診断」「どんな病気、どんな症状?」「治療は?」「何科へ?」の各項目が完結に記載されている。 * 巻末付録「知っていると思える知識」: 病気、受診のしかた、検査、薬、注射のそれぞれについて簡単にまとめられている。 * 巻末には病名索引もあり</p> <p>(「はじめに」より) 本書は、家庭で簡単に病気の診断がついて、およその治療と受診すべき診療科がわかるようになっています。(中略)症状だけから誰にでも簡単に診断できるようになっています。(中略)症状がない病気については、衣料器官や健康診断で得られた検査値の異常からも診断できるようになっています。</p>
11	病気の地図帳 新版	山口 和克／監修 東京大学医学部助教授、関東通信病院病理部長、杏林大学医学部教授(定年退職)	講談社	2000	492	一般・学生・医師	<p>* オールカラーのイラストや写真で、病気のおこり方や病気におかされた患部の状態をできるだけ写実的に、立体的に図解して解説 * 4部構成:「頭と首の病気」「胸部の病気」「腹部の病気」「全身の病気」 * 巻頭に科別の総合案内あり * 巻末に索引あり</p> <p>原因、発病のしくみ、症状、進み方、予後など、病気の全体像が実感をもってわかるカラーアトラス。旧版の解説やイラストを全面改訂し、紙面を刷新した最新版。</p>

12	こどもの病気の地図帳	<p>鴨下 重彦／監修 柳沢 正義／監修</p> <hr/> <p>【鴨下】国立国際医療センター 名誉総長、賛育会病院長 【柳沢】国立成長医療センター 病院長</p>	講談社	2002	493.9	一般・学生・医師	<p>* オールカラーのイラストや写真で、おもに乳児期以降の主要な疾患の原因、発病のしくみ、病気の状態、経過などを端的に把握できるように解説。 * 6部構成:「発達と症状・病気」「頭とくびの病気」「胸部の病気」「腹部の病気」「全身の病気」「こどもの事故と対応」 * 索引あり</p> <hr/> <p>待望の小児疾患カラーアトラスが誕生。子どもの病気の特徴を踏まえ、乳児期以降の主要な疾患の原因、発病のしくみ、病気の状態、経過などを端的に把握できるよう、イラストや図版、写真を多用してわかりやすく図解。</p>
13	日頃気になる体のあのことこの症状	<p>鷺崎 誠／著</p> <hr/> <p>東京地下鉄株式会社保健医療センター所長</p>	中央労働災害防止協会	2004	S/498.3	一般	<p>*新書 *6章構成:「頭部のあのこと この症状」「感覚器のあのこと この症状」「胸部のあのこと この症状」「消化器のあのこと この症状」「手足・皮膚のあのこと この症状」「全身のあのこと この症状」</p> <hr/> <p>(「はじめに」より) 本書はサラリーマンやOLが企業の産業医に持ち込む広範囲の質問をまとめてみたものです。(中略)できるだけ易しい表現にしてありますので、最新の知識として仲間に自慢したり、自分で応用したりするのに便利であると思います。また専門の医療機関を受診する際の予備知識としても使えます。とにかく気楽に読んでいただければ幸いです。</p>
14	からだと心の医学事典 チャートで検索トップ専門医が図解する	<p>北村惣一郎／総監修</p> <hr/> <p>国立循環器病センター名誉総長</p>	法研	2008	598.3	一般	<p>* 巻頭カラー「その不調はなぜ現れるのか? -症状の正体から検査まで-」。ほか、本文にもイラストや図解多数 * 第1章「症状の正体を探る」では、61の症状からチャートで病気をセルフチェックできる * 巻末に難解病名・医学用語解説</p> <hr/> <p>自分の不調・症状から考えられる病気をチャートで検索し、病気の原因・治療法などがわかる、読む総合病院。病気の診断方法、治療法、予後から予防法まで、図解やイラストをふんだんに使用してわかりやすく解説。</p>

その5 検査の目的や結果の見方を知る

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
1	図表でわかる 臨床症状・検査異常値のメカニズム	奈良信雄／著 東京歯科医科大学医歯学教育システム研究センター長	第一出版	2008	492	保健医療従事者・学生	<ul style="list-style-type: none"> * 3章構成:第1章「臨床症状が起こるメカニズム」、第2章「検査異常値になるメカニズム」、第3章「検査の基準値」 * 第2章では、検査項目ごとに、「英文表記」「基準値」「生理学的意義」「異常値になるメカニズム」「メモ」を記載 * 巻末に「参考図書」と索引あり <p>(「はじめに」より) 本書では、臨床症状や疾患がどのような病態生理で発生しているのか、またそれを解き明かすのに有用な検査値の読み方などを解説することになりました。とくに理解を助けるのに役立つよう、図や表を多く取り入れるようにしました。</p>
2	検査の手引き 病院の検査がわかる 改訂第5版	安藤 幸夫／著 真山 享／著 藤田 善幸／著 【安藤】聖路加クリニック院長・前聖路加国際病院副院長、同病院名誉医長。 【真山】聖路加国際病院内科医長を経て、真山クリニック院長 【藤田】聖路加国際病院内科医長	小学館	2007	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * よく行われる検査について、検査法や受けるときの注意がわかる * 各検査の目的や、結果を示した通知書の内容・見方がわかる * 検査項目ごとの基準値、異常値の判定の意味や変動幅を詳述 * 自分で出来る簡単な検査の紹介あり * <巻末資料>検査用語の解説 <p>健康診断、人間ドックなどの目的や方法、受け方、判定結果の見方、異常値の時の注意など、医師や検査技師の説明を補うレベルの高い内容をわかりやすく展開。最新の検査法や診断基準をより詳しく解説した改訂版。</p>
3	病院の検査のしくみ ビジュアル図解	藤井俊史／監修 大城クリニック副院長	同文館出版	2008	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> *健康診断から病気の診断まで、一般的な検査について、どのような検査か、目的を記載 * 各項目ごとに1ページずつ図解がある <p>病院の検査は、どんな目的でどのように行われるのか。検査結果から何がわかるのか。尿検査から血液検査、内視鏡検査、診療科特有の検査まで、病院で受ける様々な検査の意味と役割を解説。健康管理に役立つ1冊。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
4	病院の検査まるわかり事典 決定版	日野原 重明／総監修 林田憲明／編集 平松 園枝／編集 武田 京子／編集 【日野原】聖路加国際病院理事 長・名誉院長	PHP研究所	2007	492.1	一般	* 第1章で検査の基礎知識を説明、第2章でスクリーニング検査を紹介、第3章でさらに詳しく調べる必要があるときに行われる検査を紹介 * 第2章、第3章は1検査につき見開き完結、下記10項目を解説：検査の目的と内容/検査項目/基準値/疑われる関連因子・病気/検査対象/検査の意義/結果の見方/放置した場合に起こりうる病気/日常生活での注意点/関連する検査 * 巻末に基準値一覧と索引あり 受診者にわかりやすい分類で、病院で受ける検査の名前やその数値の意味するところを解説。検査・健診に関する最新の情報を網羅。気になる検査の中身、数値の読み方がわかる、検査を受ける前、受けた後に必読の書。
5	病院の「検査」のことがよくわかる本 その検査で何がわかるのか、あなたの数値は大丈夫なのか	中原 英臣／著 山野美容芸術短期大学教授、早稲田大学講師(医学博士)	河出書房新社	2006	492.1	一般	* 新書版 * プロローグ これだけは知っておきたい 検査の受け方と活かし方 第1部 定期健診・人間ドック いつもの検査の重要知識 第2部 病気・病状別 どんな検査を受けるか 第3部 精密検査の知識 検査の方法と基準値とは * 巻末に検査名索引あり 健康診断や人間ドックで行なわれる検査から、より具体的な病状に対応した精密検査まで網羅。検査の目的、検査方法、結果や数値の見方、判断基準のポイントを解説。自分で健康状態を把握するための必携本。
6	知って安心！病院検査 医療検査の目的と数値の見方	スタジオ・レゾン総合資格試験対策グループ／編著 西脇正人／監修 【西脇】けやき内科院長	日東書院本社	2008	492.1	一般	* 検査を6つの視点から紹介 1 基本検査 2 検体検査 3 生体検査 4 その他の検査 5 症状別の検査 6 病気別の検査 病院の医療検査についての知識をこの1冊に凝縮。健康診断や病気でよく行われる検査について、その内容をわかりやすく解説。検査の基本情報や症状、病気別の視点から調べる検査も収録。健康が気になるすべての人に。
7	最新 検査のすべて 定期健診・病院での検査・ガン検診・人間ドック・精密検査などの詳しい内容がよくわかる	小橋隆一郎／著 コハシ文春ビル診療所院長	主婦の友社	2009	492.1	一般	* オールカラー、大きめの活字 * 索引あり * 各検査につき、「基準値」「検査時間」「体への負担」「準備と注意」「検査でわかること」「異常があったら」「疑われる病気」を記載 「年に1度は必ず受けたい基本健診」「がんを発見・診断するがん検診」「治療方法検討のための専門的な検査」の章に分けて、検査の内容を詳しく紹介。検査時間、体への負担なども掲載する。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
8	新 検査のすべてがわかる本 健康診断と検査結果を生かす	矢富裕／編著 野田光彦／ 編著 【矢野】東京大学大学院医学 系研究科臨床病態検査医学 教授 【野田】国立国際医療センター 糖尿病・代謝症候群診療部部 長	時事通信出 版局	2008	492.1	一般	* 巻末に「おもな検査の基準値一覧」と索引あり (目次より) 1 健康診断の受け方と結果の生かし方 2 各検査の新知识 3 おもな病気と検査
9	健康診断の検査値がとことんわ かる事典 基本健診から精密検 査まで	主婦と生活社／編 西崎統／ 監修 【西崎】西崎クリニック院長・聖 路加国際病院人間ドック科顧 問	主婦と生活 社	2008	492.1	一般	* 下記4章構成。各項目の見出し内に、最初に「どんな検査?」「異 常値を示す主な病気」を完結にまとめてある。各項目の最後に「アド バイス」あり 1章 あなたは今、本当に健康ですか? 2章 検査を受ける前に知っておきたいこと 3章 病気を早期発見する主な検査 4章 健康診断で見つかる主な病気 病気発見の第一の機会となる定期健康診断の実施意義を踏まえ、 そこで行われることの多い各種検査に的を絞り、検査の意味、基準 値、異常値が出た場合に考えられる病気などについてわかりやすく コンパクトに解説。
10	ナースのための図解検査の話	芦川 和高／監修 大船中央病院付属診療所所 長	学研	2004	492.1	看護現場 に関わる 方	* 下記10章に分け、Q&A方式で解説。参考文献と索引あり。 1 血液・循環器疾患と検査 2 呼吸器疾患と検査 3 消化器疾患と検査 4 腎・泌尿器疾患と検査 5 骨・関節・筋肉疾患と検査 6 性・生殖器疾患(母性含む)と検査 7 内分泌・代謝疾患と検査 8 免疫疾患・感染症と検査 9 脳・神経疾患と検査 10 感覚器疾患と検査 検体検査と生体検査の中から、一般的に必要な項目を選び、検査 に関する疑問に対して答えるQ&A方式とし、広い視野と日常の臨 床での経験から、図解と簡潔な文章で要点を示した書。

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
11	図解すぐわかる検査値の読み方 すばやく引ける便利事典	兼高 達貳／監修 栗原 毅／監修 【兼高】前東京通信病院消化器科部長(医学博士) 【栗原】東京女子医科大学内科教授(医学博士)	成美堂出版	2006	492.1	看護現場に関わる方	<ul style="list-style-type: none"> * 巻等に人体構造の図解・名称あり * 全262項目、看護現場ですぐ引けることを目的に構成 * 各項目につき「検査項目」「関連する検査名と参照ページ」「変動要因マーク」「考えられる原因」「図版および補足説明」「検査の目的」「観察のポイント」「ケアのポイント」を記載 * 特に注意すべき看護上のポイントについては「ここに注意」マーク、日常の看護の中でついおろそかにしてしまいがちな基本的な事柄には「看護のひとくちメモ」マーク * 巻末＜資料編＞:「検査関連用語の解説」「数式と点滴」「基礎代謝とエネルギー消費量」「検査と食事・薬剤」「おもな基準値一覧」 * 索引あり <p>日常診療でよく行われる検査を中心に、最新の検査を加えた全262項目を取り上げ、目的や考えられる原因、観察・ケアのポイントなどをビジュアル解説。忙しい看護の現場ですぐ引ける、すぐわかる紙面構成。</p>
12	検査・検査値早引き事典 検査の意味と基準値がひと目でわかる!	森 三樹雄／監修 獨協医科大学教授(医学博士)	西東社	2005	492.1	看護師・医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> * ポケット版 * 巻末に「基準値一覧」、「略語一覧」、索引あり <p>正しい検査値の読み方と解釈が、よりきめ細やかな診断や治療につながる。本書では、各検査の基準値や検査の目的と方法、検査結果の見方、検査の注意点などを解説。素早く引けて、持ち歩きに便利なポケット事典。</p>
13	ナースのためのすぐわかる検査値ガイドブック	西崎 統／監修 聖路加国際病院内科医長	ナツメ社	2005	492.1	看護師・臨床検査業務関係者・学生・一般	<ul style="list-style-type: none"> * 臨床検査で実施される主な検査を項目別に分類し、看護師がデスクサイドにおいて対応できるようにしている * 各項目につき「基準値」「検査の目的」「検査の方法」「数値の見方」「以上を示す疾患」(数値の増減と対応させて疾患を記載)「看護のポイント」を記載 * 索引あり <p>(目次より) 第1章 尿・糞便検査 第2章 血液一般検査 第3章 血液生化学検査 第4章 免疫血清検査 第5章 ホルモン検査 第6章 腫瘍マーカー 第7章 画像検査 第8章 そのほかの検査 第9章 部位別・病気と検査</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
14	検査値早わかりガイド 改訂・増補3版	江口正信／〔ほか〕共著 帝京大学医学部附属溝口病院臨床病理科教授	医学芸術新社	2009	492.1	看護師・医療関係者・臨床検査業務従事者・学生・一般	<ul style="list-style-type: none"> * 各項目につき、「定義」「異常とその原因」(基準値を中央に取り、上方に高値の場合に考えられる疾患や病態を、下方に低値の場合に考えられる疾患や病態を記載)「看護のポイント」を記載 * 紹介されている検査および疾患と関連する症例や組織画像の写真約380点を収録したCD-ROM付き * 巻末に参考文献、基準値一覧、索引あり <p>現在の医療にマッチした臨床検査関係のガイドブック。検査項目の見直しとともに、症例の多くをより鮮明にカラー写真化。各種臨床検査の意義とその基準値、および関連する疾患群との関係がより簡潔に理解できる新版。</p>
15	検査と数値を知る事典 Dr. アドバイスで早わかり ワイド版	和田 高士／著 東京慈恵会医科大学健康医学センター長	日本文芸社	2006	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 検査の判定に使われる用語の意味について簡潔な解説がある * 検査値の重症度が表記されている * 検査費用、所要時間、痛みの程度が★印で3段階評価されている * 「ドクターズアドバイス」欄あり * 付録「人間ドックでの基本的な検査」 * 索引あり <p>健康診断から人間ドックまで、医療機関で実施されている代表的な検査を網羅。画像検査の判定に使われる用語の解説、検査値の重症度、痛みの程度や検査費用も表示。検査の全てと気がかりな結果の改善法をまとめる。</p>
16	検査値の読み方・考え方 専門医からのアドバイス	西崎統／編 村上純子／編 【西崎】西崎クリニック院長・聖路加国際病院人間ドック科顧問 【村上】聖母大学教授	総合医学社	2008	492.1	医学生・臨床研修医・医師	<ul style="list-style-type: none"> * 各項目について「基準値」「検査の意義」「異常値を示す疾患と病態」「他の検査との関係」「高値を示す場合」「低値を示す場合」「異常値を示すメカニズム」「臨床に役立つ知識」を記載 * 索引あり <p>(序より) 本書のコンセプトは、持ち運び可能なサイズで、日常診療に頻繁に利用されている項目を過不足なく取り上げることで、(中略)臨床の現場で本当に役立つということだと考えます、コンセプトにしたがい、特殊な項目や、検査法の理論・技術論は一切省きました。(中略)内科学会認定総合内科専門医の先生方を中心に、臨床検査医学会認定臨床検査専門医の先生方にもお願いして、検査の組み立て方から、検査の読み方、疾患・病態の判定までを、分かりやすく解説していただきました。(中略)異常値が出るメカニズムにも触れていただきました。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
17	病気と検査のはなし 50人の専門医が教える	日本臨床検査専門医会／監修	日本衛生検査所協会	2005	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 読み物形式 * 巻等エッセイ「プロスキーヤー三浦雄一郎の私と家族の健康談義」 * 現代医療のキーワード1～4、暮らしの健康アドバイス1～4あり * 巻末資料「人間ドックの検査項目に関する参考基準値表」 <p>(「監修にあたって」より) この本は、尿検査、血液検査、肝炎ウイルスの検査、エイズの検査、腫瘍マーカー、遺伝子の検査、インフルエンザの検査など重要と思われる検査を取上げ、分かりやすく説明しております。この他、生体検査(生理機能検査)と呼ばれる心電図検査、超音波検査、脳波検査などにも触れておりますので、きっと皆さんのお役に立つと思います。</p>
18	最新 病気別検査と手術 痛くない！ 苦しめない！	松井宏夫／著 医学ジャーナリスト	主婦と生活社	2009	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 読み物形式 * 病気別に、検査や治療のことについて、簡単に紹介 * 各項目の最後に「memo」あり <p>どこの病院で痛くない苦しめない検査と手術を行っているか。カプセル内視鏡や、コイル塞栓術など、医療機器と技術の発達で進化している最新の「身体にやさしい」治療法と検査を、病気別にわかりやすく紹介。</p>
19	血液検査の知識	宮地勇人／著 東海大学医学部基盤診療学系教授(医学博士)	東海大学出版会	2008	492.1	一般	<ul style="list-style-type: none"> * 読み物形式 * 巻等に表「採血・検尿検査内容の説明」 * 巻末に参考文献、索引あり <p>血液検査では、血液成分を数値で表すことにより、からだに関する多くの情報を知ることができる。血液と血液検査について基本的な知識を整理して説明し、血液検査を日ごろの健康管理などに役立てることを勧める書。</p>

	書名	著者／当時の所属	出版社	出版年	請求番号	主な対象	本の特徴／概要
20	「人間ドック」健康百科 検査がわかる、結果がわかる 増補新版	日野原 重明／監修 日本総合健診医学会／編	日本放送出版協会	2007	498.8	一般	<p>* 読み物形式</p> <p>* 人間ドックを検査別に取り上げ、テーマごとに実際に異常が見つかった検診例などを見ながら、数値の読み方を解説。結果に応じて生活をどのように改善すればよいかのチェックポイントを記載。</p> <p>* 受診者が生活改善をした後の経過をまとめたドッグ後のレポートを記載</p> <p>* 「医師の見極めのポイント」欄あり</p> <p>* 巻末に「ミニ用語解説」、県別の「総合検診指定施設一覧」、「1日ドック・2日ドック施設リスト」あり</p>
		【日野原】聖路加国際病院理事長・名誉院長					生活習慣病は今や早期発見から予防の時代へ。26人の名医が教える、読む人間ドック。新たに、「メタボリックシンドロームと特定健診・特定保健指導」を追補。現代人必携の健康予防のための本。
21	賢く活用する人間ドック 読む人間ドック危ない現代病30 集英社健康百科 15	集英社	集英社	2005	490.8/15	一般	<p>* オールカラー、35ページ</p> <p>* 写真・イラスト多数で人間ドックの実体験やを紹介、結果の見方、人間ドッグの必要度チェック、食生活のバランスチェックなど</p> <p>* 巻末に「全国人間ドックリスト 年間5,000人以上の実績がある施設119」あり</p> <p>(目次より) 「人間ドックを知る」／「健康を維持するための日常生活」</p> <p>人間ドックというと、かつては、病気の早期発見を中心に行われていました。しかし最近では、病気の予防や健康づくりの役割が注目されています。日本人の死亡原因の上位を占める生活習慣病のもとになる、食事の偏りや運動不足など、生活習慣のゆがみや、その改善点もわかるのです。</p>



●●●高知県立図書館の健康情報サービス●●●

「KARADA 知って安心 人体・病気・検査のしくみ」

2009年8月 初版

高知県立図書館 利用サービスチーム／編

〒780-0850 高知市丸ノ内1-1-10

TEL.088-872-6307 FAX.088-872-6479

<http://www.pref.kochi.lg.jp/~lib/>